

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

応募者名: 静岡市 都市局 都市計画部 市街地整備課

事業の名称: 静岡駅北口広場整備事業

(静岡広域都市計画道路 中央幹線)

実施都市名: 静岡市

事業目的

JR静岡駅は、1日約12万人の乗降客を有する県都の玄関口であり、その北口広場は乗降客の7割が利用する中心市街地への入り口であるとともに、公共交通機関の乗り入れや、主要幹線道路等が集中する県内随一の交通結節点となっております。

当駅前広場は、前整備時、広場面積約10,800㎡で整備されましたが、近年のモータリゼーションの進展により交通機能が低下し、地下通路も迷路性が強くバリアが多い等様々な課題を抱えていたため、これらを改善するとともに、将来の交通需要にも対応できるよう、面積を17,800㎡に拡張し、平成16年度より交通機能を確保しつつ整備を進め、平成20年9月に完成いたしました。

事業概要

事業名：静岡駅北口広場整備事業

路線名：静岡広域都市計画道路 中央幹線

事業箇所：葵区黒金町地内

事業延長：A=17,800㎡

総事業費：約47億円

事業期間：平成16年度～平成20年度

地上

広場拡張面積：10,800㎡→17,800㎡

バス乗降場：12台 → 15台

タクシー乗降場：5台 → 6台

一般車乗降場：5台 → 8台

臨時バス乗降場：0台 → 2台

吹き抜け大屋根：742㎡

地下

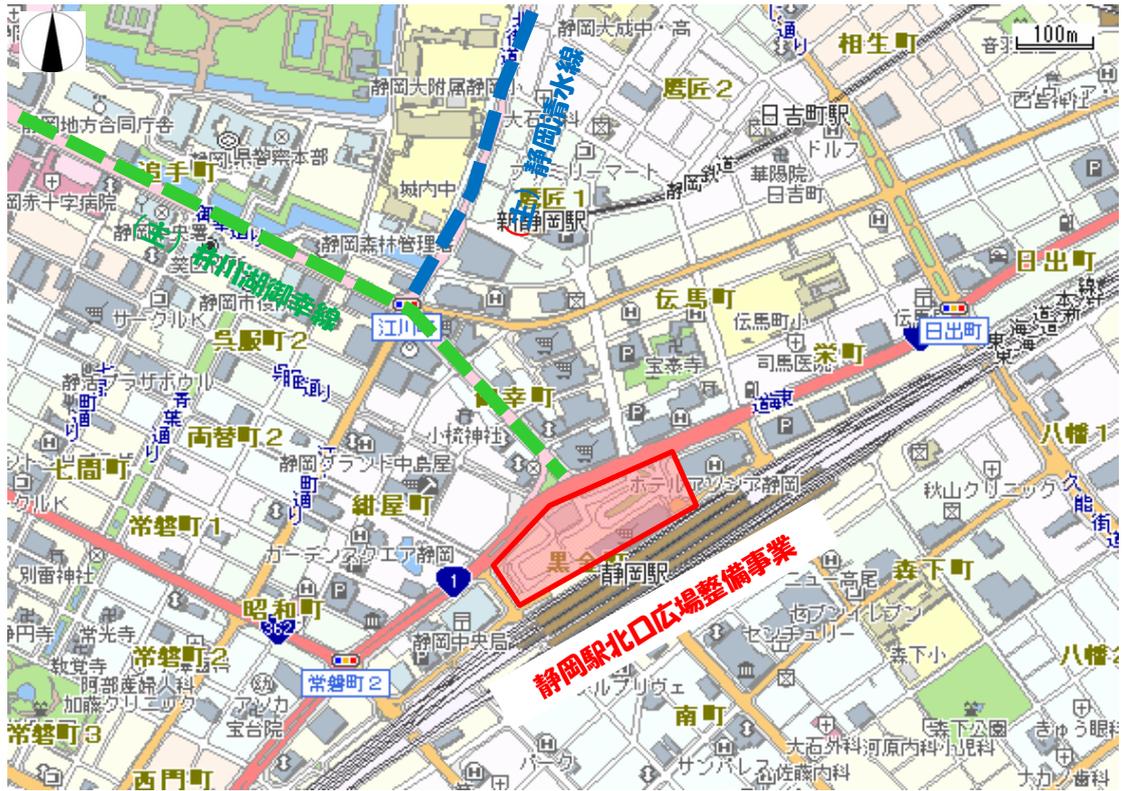
地下広場築造：A=1,500㎡

エレベーター：2基

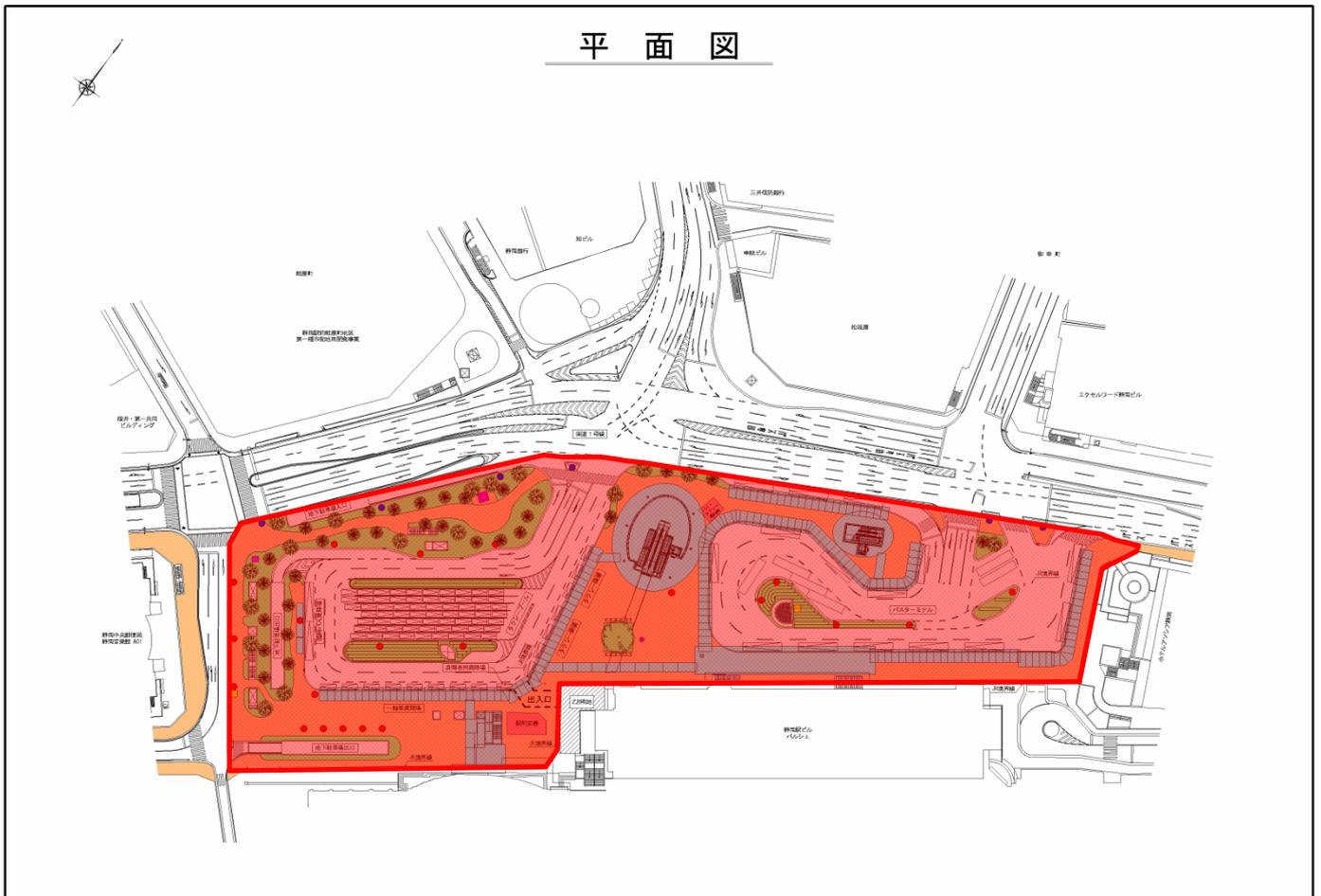
エスカレーター：4基

(上下各2基)

事業位置図



全体図(平面図)



静岡駅北口広場の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 静岡駅北口広場整備事業

路線名: 静清広域都市計画道路

中央幹線

事業箇所: 葵区黒金町地内

事業延長: A=17,800m²

総事業費: 約47億円

事業期間: H16~H20

「整備効果」

○景観形成

県都の玄関口にふさわしい吹き抜け大屋根を整備し、夜間のライトアップを行い来街者にアピールをしています。

○ユニバーサルデザインに配慮した整備

多言語表記サイン、ゆとりある歩行空間等の整備により、全ての人が移動しやすい広場になっています。

○乗りやすいバス乗り場

整備前は島式で分散していたバス乗り場を集約し、地上移動のみの平面的な乗降空間の形成をしました。

事業前写真

平成16年7月撮影



昭和58年3月撮影
(前整備完了直後)

平成16年7月撮影



事業後写真

平成21年8月撮影



平成21年4月撮影

平成21年4月撮影

